

詐欺を防ぐために

岡山県倉敷市立船穂中学校 3年 矢部 菜々美



最近、詐欺についてのニュースをよく耳にします。私は、一番にオレオレ詐欺を思いうかべます。オレオレ詐欺とは、電話をかけるなど対面することなく相手を信頼させ、指定した預貯金口座へ振り込むよう要求し不特定多数の者から現金等を騙し取るという犯罪です。この詐欺は、代表的な物の一つでテレビでもよく目にします。

私は、「オレだよオレ。」と言われて、「こんなわかりやすい詐欺に引っかかるわけないわ。」とっていました。しかし、オレオレ詐欺は、若者ではなく高齢者を中心に被害が多いそうです。普段連絡もしてこない息子や孫が突然電話をして「お金がいる。」と言われてしまったら、お金をあげてしまうそうです。子供を思うあまり、ウソの事実を引きこまれて払ってしまうのかもしれない。私だったら、払うかもしれません。

そんなある日、家族で祖父母の家に行きました。その時、いきなり知らない番号の人から電話がかかってきたのです。

「はい、もしもし。」

と祖母が言うと、名前も言わず

「オレだよ。息子のオレだよ。」

と電話がかかってきたのです。しかし、その場に父がいたため、すぐ詐欺であるということがわかった祖母は、

「失礼します。」

と言いすぐに電話を切りました。私は、本当にオレオレ詐欺をする人がいることに驚きました。幸いなことに、たまたま祖父母の家へ行っていたため騙されずに済みました。父が、祖母に、

「もし、ここにおらんかったらどうしとった。」

と祖母に尋ねると

「騙されとったかもしれんね。」

と言ったのです。私は、ほっとしたと同時に少し焦りが出てきました。間違えて振り込んでしまったらどうしようと思ったからです。父は、祖父母と連絡を取らないので、日頃から取るようにしたり、家族間で合言葉を決めておくなどして、対策をしておくことで防ぐことができるのではないかと思います。

しかし、なぜ多くの方が被害にあってしまうのか調べてみることにしました。被害者の多くは、「自分は詐欺に遭わない。」と自信があったそうです。その中でも、「家族の声やウソを見抜ける。」とっていたと回答していることです。

ウソを見やぶった人のうち「家族の声と違っていたから。」と答えています。確かに家族の声を正確に聞き分けられることは有効な対策ですが、オレオレ詐欺は高齢者に被害が多く、人間の認知機能は五十歳ごろから低下するため、高齢者になるほど判断能力や声の認識能力が下がっていくそうです。だから、「自分は詐欺に遭わない。」ではなく、「遭うかもしれない。」と少し意識してみることで少しでも防ぐことができるのではないかと思います。

しかし、詐欺に遭ってしまうのは高齢者だけではありません。今はスマホを持っている人が多く、スマホ世代の私たちも特殊詐欺に巻き込まれてしまうことが多くなっています。

ある日、友達とラインをしていた時、一通のメールが届きました。ラインを止めて、メールを開くと、「ご本人様不在の為、お荷物を持ち帰りました。ご確認ください。」ということでした。私は不安だったので父に相談してみると、「それは詐欺や。ほっとけばええよ。」

とすぐに教えてくれました。私は父に相談していなかったら、リンクを開いてしまい大変な事になっていたかもしれません。だから、不安に思うことがあるなら、誰かに相談したり、メールを無視したりすれば良いと思います。人に話すことで、不安な気持ちも少しは和らぐと思います。

詐欺を完全に防ぐことはできないが、家族と会話したり、典型的な詐欺の手口を覚えたりすることが良いと思います。他にも、特殊詐欺の多くは、電話をかけてくる所から始まるので、知らない番号には出ない、怪しい電話は録音するなどの対策をすれば、少しは防げるのではないかと思います。

私には関係のないことだと思いながら毎日ニュースを見ていたが、自分も身近なことであると意識しながら過ごしていきたいです。他にも、家族、祖父母と普段からたくさんコミュニケーションを取っていききたいと思います。